

安全方針

たゆみなき「安全」の追求

私たちは「安全」を維持するためには、すべての社員がたゆまぬ努力を継続することが必要と考えます。日比谷線列車脱線衝突事故を風化させることなく、職種を問わず、新人からベテランに至るすべての社員が安全を最優先する意識を持ち、安全文化を醸成していくことが私たちの大きな務めです。

輸送の安全に係る役職員の行動規範

- 安全の確保を最優先として、一致協力して輸送の使命を達成することに努めます。
- 輸送の安全に関する法令や規程類を理解し、遵守して、厳正かつ忠実に職務を遂行します。
- 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- 職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのあるときは、最も安全と思われる行動をとります。
- 事故・災害や、その他輸送の安全の確保に支障を及ぼすおそれがある事態が発生したときは、人命救助を最優先に、相互協力のもと、速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- 安全に係る情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝達し、共有を図ります。
- 常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

安全防災対策の重点目標 ※重点目標は毎年度見直し、社長訓示として全社員に周知しています。

1 自社に起因する事故等の発生件数の対前年度比減

社員や請負者によるミス、車両・設備の故障など自社に起因する事故等の発生を防ぐため、数値目標を設定し、その目標達成に向けた作業手順の見直しや、設備の改善等を実施し、事故等の発生件数を減少させましょう。

2 ヒューマンエラーの排除

基本動作の徹底と規程類の遵守に努めることはもちろん、自社・他社の事故事例やヒヤリ・ハット体験を共有し、発生原因を背後の要因も含めて考え、それらへの対応策を講じることにより、ヒューマンエラーの排除を図りましょう。

3 事故・災害・事件対応の充実

事故・災害等発生時の早期復旧のための対応処置及び体制の見直し・整備を図るとともに、地域防災ネットワークなどによる各部門間の連携の強化を図りましょう。日頃から各種情報に留意し、事故・災害等への対処能力の向上に努めるとともに、駅構内、列車内、車両基地等の施設の巡回及び警戒・警備を適切に行い、テロ行為、犯罪等の事件の未然防止に取り組みましょう。

4 請負工事及び委託作業における事故防止

請負工事及び委託作業にあたっては、作業の安全を最優先とする鉄道事業者としての責任を踏まえた管理、指導及び十分な打合せによる情報共有を図り、事故防止に努めましょう。

※ 平成26年4月1日付